

青山星灯籠ふたたび



青山星灯籠とは

毎年9月のお彼岸の時期になると「ののおおやま」やその周辺にたくさんの灯籠が点ります。
今年で8年目を迎える「青山星灯籠」は、「ののおおやま」の幻想的な夜の風景や、日本の伝統や文化を体験できるイベントなどで多くの方々に愛され、青山の街の風物詩となりました。

青山星灯籠の歴史

「青山星灯籠」は、江戸時代から明治時代初期頃まで、青山・百人町周辺で行われていたお盆行事です。夏の夕方、家々から長い竿が天高く伸び、その先に様々な灯籠が灯され星のように輝いています。その灯火を流れ星に見立て、祖霊の帰来を偲びました。旧暦7月の1ヶ月間、竹竿の先に提灯をつけて高く掲げるその風景は、二代歌川広重の浮世絵にも描かれています。私たちはこの「青山星灯籠」を甦らせることで、逝きし人や土地の記憶に思いを馳せ、青山らしい暮らしとは何かを見つめ直すきっかけになれば、と考えています。



【クラウドファンディングについて】

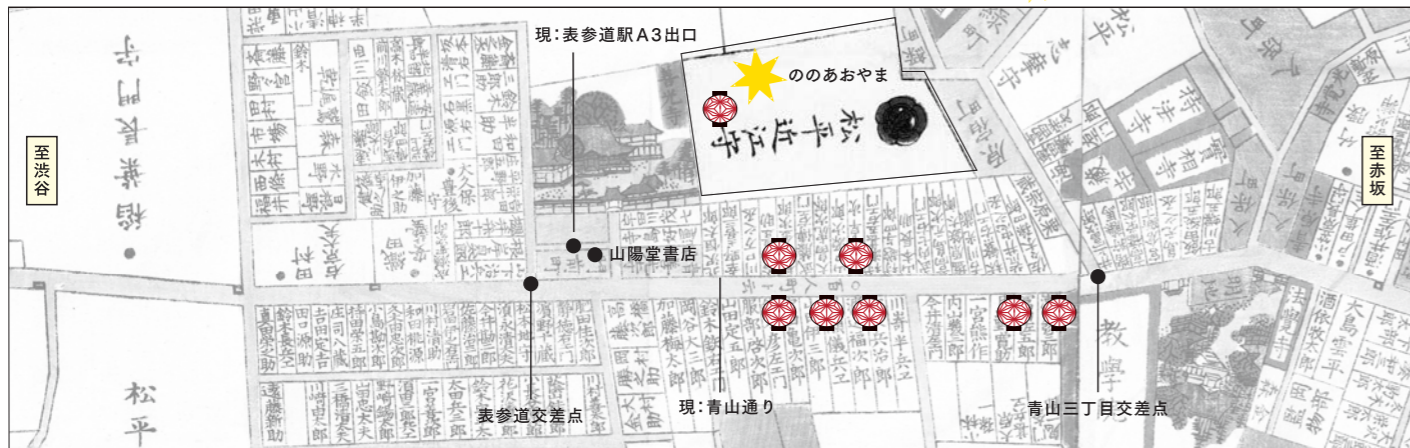
青山星灯籠を青山の風物詩にするべく、今年はクラウドファンディングでのご支援を募っています。これまでの青山星灯籠甦生プログラムの活動や、実行委員の思いについても紹介しておりますのでぜひご覧ください。

- リターンの例) ★ 5,000円: 灯籠絵付け券1回分
★ 10,000円: 浅葉克己デザイン青山星灯籠オリジナル扇子
★ 50,000円: 復刻版青山古地図
★ 100,000円: 青山星灯籠オリジナルポストカード、扇子、手拭い、古地図のセット

https://camp-fire.jp/projects/view/759249?utm_campaign=cp_po_share_c_msg_mypage_projects_show



★: イベント会場 🗺️: 星灯籠設置予定場所

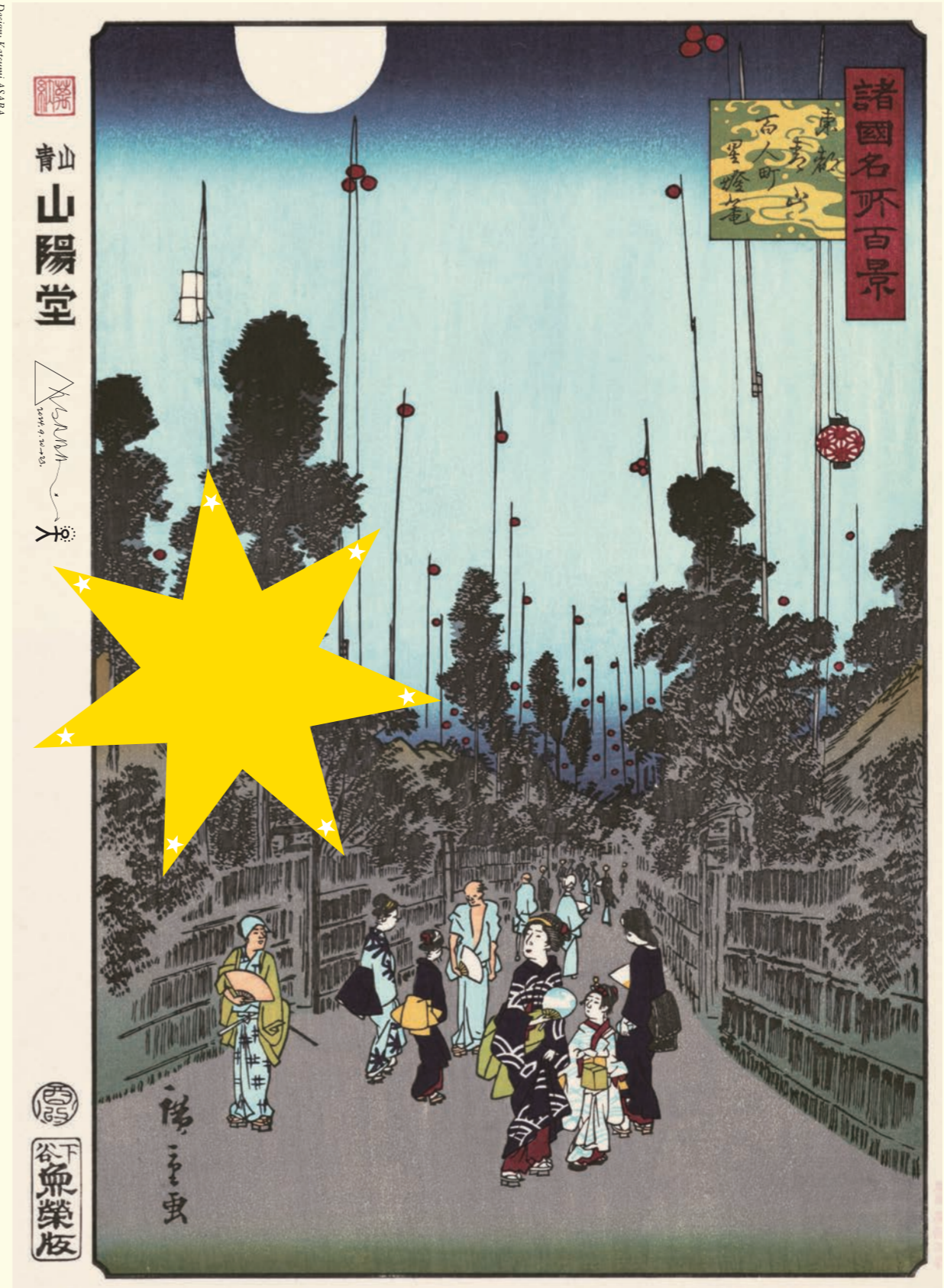


青山通りは、その昔大街道と呼ばれていました。今も残る寺社など、古地図を参考に会場までお越しください。

「東都青山絵図」個人蔵

HP <https://aoyamalanterns.com> / Instagram aoyama_hoshidoro

Design: Katsumi ASABA



青山星灯籠

Aoyama Lanterns

令和6年9月20日(金)-23日(月・祝) 点灯 18:00-20:00 (小雨決行・荒天中止)

本会場 ののおおやま(港区北青山3-4-3) 入場無料

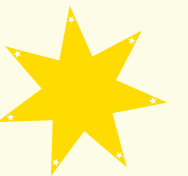
共催 青山星灯籠実行委員会 / 一般社団法人まちづくりのののおおやま

【実行委員会メンバー(五十音順)】

浅葉克己(アートディレクター) / 有賀長人 / 市川博一(ICHYS GALLERY) / 合原紀子(ブレイン)
後藤 徹(SIG) / 遠山秀子(山陽堂書店) / 水野成美(市街地開発) / 和多利浩一(ワタリウム美術館)

協力 青山商店会連合会 / 青山善光寺

連絡先 青山星灯籠実行委員会 hoshitourou@gmail.com



青山星灯籠
Aoyama Lanterns

9/21(土) 影絵人形づくりと影あそび

※要予約

ののあやまの切り枝や葉っぱを使って、人形(森の精霊)を作ります。影あそびでは作った人形を大きなスクリーンに投影して遊びます。講師:川村亘平齋



時間 影絵人形づくり ①15:00- ②17:00-
影あそび 18:30-

会場 まちあいとおみせ

参加費 1,000円 定員 各回10組
※未就学~2年生までは保護者の付き添い必須。

申込み peatixより事前にお申し込みください
<https://aoyamahoshidoro2024-kageews.peatix.com>
※空きがあれば当日参加可



9/21(土) 夜空の影絵『オロチカラ~なまぐさ天狗は龍を追う』

※要予約

昔々、生き物たちが次々とゾンビになって、世界中を破壊し続けておりました。ゾンビの襲来で森を追われた天狗とカエルが、モグラ博士に誘われ、ゾンビになったもの達を元に戻すために必要な命の源「オロチ」が眠るチノハテ山へと向かうのでした、、、お話しと音楽で、小さいお子様から大人まで皆さんで楽しんでいただける催しです。出演者:川村亘平齋×グンデル隊



時間 19:00-
会場 しばふ ※雨天時は「まちあいとおみせ」にて開催します。

席料 大人(中学生以上) 2,500円(税込)
※小学生以下のお子様は、保護者同伴で2名まで無料。

申込み peatixより事前にお申し込みください
<https://aoyamahoshidoro2024-kageperf.peatix.com>
※当日券もあります。



川村亘平齋 影絵師/音楽家
1980年、東京生まれ。インドネシア・バリ島の伝統影絵【ワヤン・クリット】を現代的な文脈で捉え直し、新たな芸能のカタチを模索し続ける影絵師。世界各国で影絵と音楽のパフォーマンスを発表。日本各地でフィールドワークやワークショップを行い、土地の記憶を手がかりに影絵作品制作。その他、切り絵や映像制作、映画・CM等への楽曲提供など幅広く活動している。ガムランを使った音楽ユニット【滞空時間】主宰。 <https://www.kawamurahoheysai.com>

グンデル隊
バリ島のガムラン音楽の中でも、影絵芝居などに使われているグンデル・ワヤンという楽器を演奏しています。演奏者4人全員が、影絵芝居の盛んなスカワティという村で体験した影絵芝居の世界に魔法をかけられてしまったからというもの、各々が何度も村に足を運び、滞在したりして、グンデル・ワヤンの修行を続けてきました。この4人は、2年前に亘平齋の影絵芝居の伴奏のために集結しました。今年で3年目を迎えます! 伊藤祐里子、大久保牧子、皆川厚一、米花知生

9/20(金)-23(月・祝) 灯籠絵付け

灯籠に願い事や亡くなった方へメッセージ、好きな絵などを描いて会場に飾ります。※期間中、港区立青山小学校6年生の皆さんの灯籠がののあやまに設置されます。



時間 17:00-20:00
会場 まちあいとおみせ
参加費 500円

9/22(日) 月夜の怪談ばなし

※要予約

四谷怪談全20話中、今年は4話目になりました。仄暗い樹林帯に神田山緑の声が響きます。お子様向けの演目からは是非ご参加ください。

時間 「雪女」18:00- 「四谷怪談」19:00-
※お子様向け

会場 ぶたい

席料 大人(中学生以上) 2,500円(税込・通し券)

申込み peatixより事前にお申し込みください
<https://aoyamahoshidoro2024-kodan.peatix.com>
※当日券もあります。
※小学生以下のお子様は、保護者同伴で2名まで無料



講師/神田山緑(かんだ・さんりょく)

中央区日本橋人形町出身。2005年講師・神田すみれに入門。2018年3月真打昇進。2014年、中野区観光大使就任。全国で公演を行うだけでなく、テレビ番組や舞台への出演など、幅広く活動。また、現在最多生徒数250名を誇る講談教室を主宰。NHK文化センター講師、東洋大学、清泉女子大学特別講師としても活躍。2018年「講談で身につくビジネスに役立つ話術の極意」を上梓。



9/23(月・祝) 青山星灯籠復刻記念対談 ~浮世絵とバウハウスデザイン~

浮世絵「青山星灯籠(諸国名所百景 東都青山百人町 星燈籠)」が約160年ぶりに復刻した事を記念し、プロジェクトに関わった、アートディレクター・浅葉克己氏と160年を超えて今なお続く江戸木版の「摺師(すりし)」高橋工房の高橋由貴子氏をお迎えする特別対談。浅葉克己氏出演の「時間を売る店」の上映会も併せて開催します。

時間 17:00-
会場 ぶたい ※雨天時は「まちあいとおみせ」にて開催します。
席料 無料



高橋由貴子(東京高橋工房六代目代表)
江戸木版画・東京高橋工房6代目。東京伝統木版画工芸協同組合理事長、浮世絵木版画摺技術保存協会副理事長。安政年間より代々続く江戸木版の「摺師」の家系で、四代目からは「版元」の暖簾も兼ねました。160余年前の創業から今に至るまで、伝統の木版画制作を続け、また江戸木版画の文化の普及と発展のため、版元として様々な作品のプロデュースしております。

浅葉克己(アートディレクター)
1940年神奈川県生まれ。桑沢デザイン研究所ライトパブリシティを経て75年浅葉克己デザイン室設立。代表作に西武百貨店「おいしい生活」武田薬品「アリナミンA」三宅一生のロゴマーク関連など。東京ADC最高賞、紫綬褒章、旭日小綬章、亀倉雄策賞、他受賞多数。東京TDC理事長、JAGDA理事、東京ADC委員、桑沢デザイン研究所10代目所長、東京造形大学・青森大学客員教授などを務める。卓球六段。

9/21(土) ひなのや 出張ボン菓子実演

愛媛県西条市のボン菓子専門店「ひなのや」が、出張ボン菓子実演を行います。ボンという大きな音とともにお米がお菓子に変身する瞬間をご覧ください。お集まりの皆さんに美味しいボン菓子を差し上げます。



時間 16:00-
会場 ぶたい
参加費 無料

9/3(火)-23(月・祝) 古地図で見る青山星灯籠

江戸から明治にかけての古地図や資料を用い、当時の青山のようすを展示します。



時間 11:00-17:00
※月曜日はお休み
会場 まちあいとおみせ